

事業概要【SDGsを原動力とした産業基盤強化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県、神戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	412,165千円（167,818千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・SDGs宣言・認証事業による県内中小企業のSDGsの取組推進 ・中小企業や産地のSDGsに資する商品開発や販路開拓の支援 ・SDGs推進のためのDX人材の育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・SDGsへの対応が遅れた企業はグリーン調達からの排除など経営上のリスクが高まることを踏まえ、宣言・認証制度により県内中小企業の取組みを推進するとともに、宣言内容を広く発信（補助・委託等）21,464千円 ・シェアを落としつつある地場産業において、地場製品の魅力向上を図るため、教育研機関等との研究開発、産地企業と小売り等のマッチング、専門セミナー開催等へ支援（補助金等）4,400千円 ・SDGs推進のためのDX人材の育成 スパコン活用人材の育成（負担金）20,000千円 マテリアルズ・インフォマティクス人材の育成（委託料等）8,096千円  【ケミカルシューズ】 (漁網再生生地を利用した靴)  SDGsに資する地場産品 イメージ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①SDGsの取組が順調に進んでいる県内企業の割合（+23.40%） ②ひょうごSDGs推進宣言を行った産地数（+18産地） ③DX導入支援により実装に結びついた件数（+2件） ④県内に本社を置く企業の海外進出数（+2社）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制、効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html

事業概要【万博開催を契機とした多様な人材による関係人口拡大プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	308,613千円（112,604千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	コロナ禍で減少した人の交流を回復し、さらに広げていくため、2025大阪・関西万博を絶好の機会とし、ツーリズムのコンテンツ等として地域資源を磨き上げ、地域の魅力を広く発信。また、入国制限が解除され、国内外から万博に人が訪れる情勢を捉え、若者や外国人の就業や起業を促進する体制を整備し、移住・定住につなげていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・地域資源の発掘・コンテンツ化 各地の地域遺産等の情報収集・データベース化 (委託料等) 405千円 地域遺産等のコンテンツ化、情報発信 (委託・補助等) 17,640千円 ・地域資源を活用した体験型ツーリズム創出促進のため、 ツーリズムの企画・実施を支援 (委託・補助等) 24,280千円 ・外国人起業家支援のためのグローバル拠点を整備し、 相談や交流事業の実施を支援 (補助等) 52,634千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	① 来訪者満足度（+11.9%） ② 住んでいる地域で自慢したい地域の宝（風景や産物、文化など）がある割合（+15.9%） ③ 県内大学生の県内就職率（+3.6%） ④ 県内外国人労働者数（+2,942人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html

事業概要【多自然地域における持続可能な地域づくりプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	442,504千円（198,081千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	人口減少・高齢化の進む多自然地域での持続可能な地域づくりのため、○農業への新規参入や収益向上を促進し、地域の基盤産業の維持を図る、○里山の保全活動を支援し、里山環境の維持を図る、○地域づくりに取り組む市町への支援によりコミュニティの維持発展を図る、○従来の公共交通に代わる新たな交通手段として、高齢者等の生活の足となる自動運転の実装をめざす		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・多自然地域の産業や生活の基盤である農業人口の減少を防ぐため、企業や都市住民等の新規参入を支援 農業技術や経営ノウハウ習得に向けた支援を実施 (補助金) 7,140千円 ・持続的な農業経営の実現のため、付加価値の高い農産物生産等による収益性の向上を支援 有機農業モデル経営体育成への支援等(補助金等) 17,610千円 ・里山保全のための活動等を行う団体等への支援(補助金等) 7,981千円 ・地域での生活の維持に必要な新たな交通手段の実証 自動運転の地域実装を目指した実証実験の実施 (委託料等) 70,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業の農業参入数（+60件） ②森林ボランティア団体数（+6団体） ③持続可能な生活圏形成等支援事業を通じて取組を実施した地域数（+37団体） ④住んでいる地域にこれからも住みたい割合（+0.7%）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html



事業概要【「住む」「働く」「訪れる」@Hyogoプロジェクト】

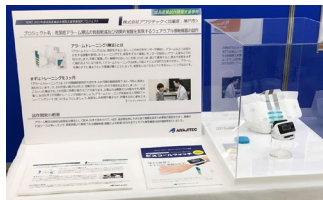
旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	436,479千円（145,493千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	地方移住に関心が高い都市圏居住者に対し、大規模イベントの実施やターゲットの拡大につながる効率的な情報配信などによりUJIターンの促進を図り、社会減から社会増への転換を図る。 地域住民等によるビジネス手法を活用した地域課題の解決支援や多様な分野への就業支援により、持続可能な地域づくりと雇用の推進を図る。クルージングMICEやアニメツーリズム等、発想の転換と新たなコンテンツ発掘による持続可能な観光地域づくりを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	・移住への関心が高い層への情報発信を強化するため、移住相談だけでなく、就労、就農、県内特産品の販売ブースを含めた単独開催によるフェア開催 （委託料）20,000千円 ・Webによるターゲティング広告等あらゆるメディア広報媒体を活用した情報発信（委託料）15,883千円 ・豊岡復興建築群の魅力を内外に発信し来訪者の増加につなげるためのイベント（委託料等）650千円 ・兵庫を元気にしているすごい人物等、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信（委託料等）11,056千円		 首都圏で全国規模の移住促進イベント（イメージ）
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住施策によって県外から転入した人の数（+1,200人） ②県内大学卒業生の県内企業への就職率（+4.2%） ③県内観光消費額（+43,500億円） ④県内観光入込客数（+900万人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html



事業概要【しごと創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	424,482千円（141,494千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	若い世代の就業ニーズに応じた産業の創出や、若者にとって魅力を感じられる企業の増加を目指す。 ・成長産業4分野を重点的に育成し兵庫経済の競争力を高める。 ・多様な働き方や活躍しやすい環境を整備し若者の定着を図る。 ・初等教育でのアントプレナーシップ教育を実施し、若者の起業の活発化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○成長産業強化 ・県内の中小企業を含む産学官のグループによる産業創出を図るため、産学官が連携して取り組む研究開発に係る費用を補助 (補助金) 16,000千円 ・DX導入・現場改善・生産管理システム導入等生産性向上等を支援(委託料) 59,200千円 ○起業創業・雇用活性化支援 ・デジタル技術を積極的に活用するビジネスプランへの支援 (補助金) 33,000千円 ・県内中学校、高等学校への社会課題解決型起業家精神養成プログラムの導入等の若者起業人材育成 (委託、補助金等 18,126千円)  成長産業強化 企業例 ウェアブル感触機器 (株) アワジテック  ものづくり支援センター (生産性向上支援) イメージ ロボット導入支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者(20歳代)の転入超過数（+4,260人） ②成長産業（環境・水素等新エネルギー、航空・宇宙、ロボット・AI・IoT、健康・医療）の企業数（+21社） ③県内生産性向上達成企業の増加数（+9社） ④開業率の全国順位（+1位）	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/suishintype.html (効果検証) https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/senryakukaigi.html

事業概要【訪日外国人等観光客誘致プロジェクト～「世界一の食の島」を目指して～】

申請者	兵庫県ほか3自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	80,760千円 (26,920千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・「淡路島ならではの本物体験」等コンテンツの造成・磨き上げや周辺地域の空港を活用したプロモーションを行うことで、消費単価の高い訪日外国人等を誘客し観光消費額の向上を促す。 ・「世界一の食の島」を目指し、ガストロノミー的要素を含んだコンテンツの造成・磨き上げを行い、淡路島の多様な「食」や「食材」のブランド化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 訪日外国人等観光客に向けた「淡路島ならではの本物体験」等のコンテンツの造成や周辺地域の空港を活用した誘客プロモーションを行う。また、ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツ造成を行う。 【ソフト事業経費】 ○訪日外国人等観光客誘致戦略の推進 ・専門人材の登用（報償費）5,858千円 ○訪日外国人等観光客受入環境の整備 ・コンテンツ予約ページの多言語化（委託費）2,188千円 ○アフター万博を見据えた訪日外国人等観光客誘客戦略事業 ・A Rを活用したコンテンツの造成（委託費）4,800千円 ・空港を活用したプロモーション（委託費）3,900千円 ○「世界一の食の島」に向けた取組の推進 ・ガストロノミー的要素を盛り込んだ「食」分野等の魅力的なコンテンツの開発（報償費）2,100千円					訪日外国人等観光客に向けたコンテンツの発掘・造成  「世界一の食の島」に向けた「食」のブランディング化 	
地域の多様な 主体の参画	事業推進主体の会議に島内の観光の代表者等が参画し、意見交換や共有を行うことで、観光施策や交通対策施策の事業内容への反映に取り組む。 兵庫県県民意識調査による地域住民の意見を吸い上げ、島民目線での観光振興に対する意見について、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊者に占める外国人観光客（+1.2%） ②観光GDP（+85億円） ③訪日外国人等観光客向け観光コンテンツ造成数（+30件） ④観光客の消費単価（宿泊者）（+10,000円）

※兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市の広域連携事業

事業概要【多様な地域資源を活かしたエンパワーメント推進プロジェクト】

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	793,067千円 (257,521千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 人の動きを活発化させるため、人材育成や中間支援機関のネットワーク化、またエリアマネジメントを導入したまちづくりなどにより地域の魅力を高め、持続可能な地域づくりを展開するとともに社会増を目指す。 - 五国の多様で固有の資源を活かし、磨き上げをしながら魅力を向上させ、その土地ならではの食や文化に触れる機会、地元の人々との交流やローカルな体験など、地域一体となった兵庫ならではの取組を進め、2025年大阪・関西万博、ワールドマスターズゲームズ2027 関西、神戸空港の国際化などを好機とした交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 人材育成や中間支援機関のネットワーク化、エリアマネジメントを導入したまちづくり、地域資源の磨き上げなどにより地域の魅力を高める。 【ソフト事業経費】 - 地域活性化に熱意のある県民、事業者、団体等各主体の交流の場となるプラットフォームを構築し、事業者とのマッチングが成立した先導的取組に対し補助（委託、補助金等 18,882千円） - 地域づくりのトップランナーが所属する団体と若者をマッチングし、団体のもとで地域活動の体験実施（委託等 4,860千円） - 県内外へのひょうごの魅力発信、移住の促進を図るため、WEBやメディアを活用した広報、市町と連携したイベント等の開催などによる積極的な広報展開（一部委託料 81,478千円）					 移住相談の様子	
地域の多様な 主体の参画	地域活性化に尽力している民間事業者や、地域の大学、地域活動団体等から事業推進や改善に向けた意見を聴取し、事業内容の反映に取り組む					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人を含む県内への転入超過数(+12,700人) ②移住施策による県外からの転入者数(+3,900人) ③県内観光消費額(+1,386億円) ④公民連携による地域創生事業支援数(+30件) ⑤空き家活用件数(+330件)

事業概要【次代を担う若者の活躍推進プロジェクト】

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	399,714千円 (135,212千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	次代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向け、若者・Z世代を直接応援する取り組みを推進していく。 ・多様で安心して学べる環境整備 ・子どもを産み育てやすい環境整備 ・多様な働く場の創出に向けた環境整備						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様で安心して学べ、子供を産み育てやすく、また、多様な働く場の創出に向けた環境整備を行う。 【ソフト事業経費】 ・全県立高校において、地域の核となる人材を育成し、地域への愛着を醸成するため、生徒が地域の行事等へ参画し、地域企業での就業体験や事業提案等をする取組実施（77,000千円） ・義務教育段階における教育機会の確保のため、フリースクール等民間施設に通う児童生徒の家庭に対する支援を実施（補助金 24,900千円） ・不妊治療と仕事の両立を推進するため、動画等を活用した普及啓発、フォーラムの開催、企業への専門家派遣、研修を実施（委託料 12,711千円） ・企業の人手不足や外国人の県内定着を図るため、外国人雇用に関する企業認定制度により、認定企業による外国人材の採用を支援（委託等 13,221千円）						
地域の多様な 主体の参画	地域活性化に尽力している民間事業者や、地域の大学、地域活動団体等から事業推進や改善に向けた意見を聴取し、事業内容の反映に取り組む					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ファミリー層の転入超過（+3,900人） ②将来、ふるさとで働きたいと思う生徒の割合（+13.5%） ③不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合（±0%） ④合計特殊出生率（±0%） ⑤安心して楽しく子育てができると思う人の割合（5.6%） ⑥県内外国人労働者数（+199,500人）

事業概要【安全安心・居場所創造による地域活力創造プロジェクト】

申請者	兵庫県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	171,248千円 (59,640千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・子どもの安全確保や犯罪防止など、地域の安全を向上し、安心して暮らせる地域社会を構築する。 ・高齢者や障害者が自立した生活ができる環境や住み慣れた地域で安心して生活できる環境、及び同居家族も孤立することなく支えることができる環境を整備する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 地域全体で安全・安心を守る体制の強化、地域の高齢者・障害者の居場所づくりの確保を行う。 【ソフト事業経費】 ・特殊詐欺等被害の未然防止及び犯罪実行者の発生防止のため、SNS等を活用した情報発信や地域と連携した講習会等を実施（県 10,000千円） ・家族介護者の離職を防止するとともに、中重度の要介護高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、24時間対応在宅介護サービスの事業者の新規参入を促進し、サービスの普及を図るため、新規事業所開設を支援（補助金 27,806千円） ・農業者と福祉事業所等をつなぐ体制構築と、農業者と障害者等をマッチングするワンストップ型のアプリの構築、フォローを実施（一部委託 5,726千円）						 農業者向け農福連携研修会（神戸市）	
地域の多様な 主体の参画	地域活性化に尽力している民間事業者や、地域の大学、地域活動団体等から事業推進や改善に向けた意見を聴取し、事業内容の反映に取り組む						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住んでいる地域で治安が良く、安心して暮らしている人の割合（±0%） ②住んでいる地域での介護の安心感において「安心感がある」「どちらかといえば安心感がある」の割合（±0%） ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所整備数（+39箇所） ④農福連携取組件数（+20件）

事業概要【持続可能な農振水産業の推進プロジェクト】

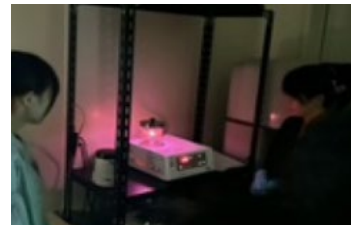
申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	385,395千円 (134,954千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進することにより、作業の省力化など生産性の向上と製品の高品質化等を図る。 ・本県の強みを活かし、需要と直結した品目・品種の生産の新展開を図り、さらなるブランド戦略の展開する。 ・農地の持続的な活用・保全を図るため、担い手や自給的農家、非農家等が、営農や草刈り、水路管理等に関する役割分担の合意のもとに地域全体で継続していく取組を推進する。 ・地域資源の活用や環境の保全に地域ぐるみで取り組み、集落機能の維持等を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 スマート化による新しい農業の展開、地域の強みを活かした需要と直結した生産の新展開、地域の多様な人材が支えあう持続可能な地域協働体制の確立、漁業者の労働環境の改善の支援、農業被害を防ぐ地域づくり等を行う。 【ソフト事業経費】 ・但馬牛・神戸ビーフの生産性向上と安定生産を図るため、DX技術の導入等により生産性向上に向けた取組を推進（補助金 22,500千円） ・温暖化に対応した水稻の品種ニーズに対応するため、種子産地の品種転換に向けた取組を支援（補助金 19,500千円） ・農業や農用地保全活動と併せて、地域コミュニティの維持に資する取組を行う農村RMO組織の運営を支援（委託、補助金等 4,407千円） ・漁業者の人材確保のため、漁労作業の省力化等労働環境改善を支援（補助金 16,667千円） ・放置竹林の拡大防止のため、伐採・保育に係る経費の支援と竹を活用した土系舗装の実証実験を実施（工事費、補助金等 4,000千円）					 地域ぐるみによる水路の保全活動	 DX技術（ほ乳ロボット）を活用した子牛の生産
地域の多様な 主体の参画	地域活性化に尽力している民間事業者や、地域の大学、地域活動団体等から事業推進や改善に向けた意見を聴取し、事業内容の反映に取り組む					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産業算出額（+65億円） ②漁業算出額（+27億円） ③県内のスマート農業の導入状況（+2,720ha） ④新たに農業、林業、漁業に就いたものの数（+1,125人） ⑤海外市場開拓数(品目毎累計)(+37国・地域) ③地元や県内の農林水産業に活気があると感じている人の割合（±0%）

事業概要【活力ある地域経済づくりプロジェクト】

申請者	兵庫県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	744,194千円 (264,746千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・ひょうごを牽引する新たな産業の創出するため、成長産業の育成とひょうごスタートアップエコシステムを構築する。 ・中小企業の持続可能性と収益性を両立した循環経済の実現を目指し、その経営基盤強化を図る。 ・ひょうごの経済を支える人材の確保・育成を進める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 新産業の創出・成長への支援の充実・強化、中小企業の経営基盤の強化や、地域経済を支える人材への投資促進を行う。 【ソフト事業経費】 ・グリーンに資する航空機産業セミナーの開催、研修等によるグリーン化等の環境変化に対応した生産技術指導の実施（補助金 17,773千円） ・若者中心とした個人やグループのビジネスプランのブラッシュアップや個人メンタリング等の伴走支援（委託料 14,002千円） ・スタートアップ企業と産学官の研究チームによる研究開発補助（補助金 21,000千円） ・地場産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援（委託等 25,022千円） ・大学生と中小企業のマッチングを促進するためのインターンシッププログラムの作成支援やテーマ型インターンシップ、探求型プレインターンシップの実施（委託等 17,802千円）					 インターンシップのイメージ	
地域の多様な 主体の参画	地域活性化に尽力している民間事業者や、地域の大学、地域活動団体等から事業推進や改善に向けた意見を聴取し、事業内容の反映に取り組む					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品付加価値額（+2,349億円） ②地場産業生産額（±0億円） ③スタートアップ創出数（+90件） ④DX導入支援により実装に結びついた件数（+33件） ⑤県内大学卒業生の県内企業就職率（+4.8%）

事業概要【こうべ女性就業・活躍促進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県神戸市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	89,580千円（18,620千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・女性が働く希望を叶え、ライフイベントに左右されず多様な働き方を選択しながらキャリアを築き、活躍できるまちの実現を目指す。 ・地方経済の中核となる都市として、若年女性にとって魅力ある仕事を増やし人口流出を防ぎ、神戸の都市機能を周辺の都市・地域に提供することで、地域の経済をけん引し、活力の維持・発展を推進する。		
事業概要・ 主な経費	○女性の再就職・キャリアアップ形成への支援 ・就労支援セミナー等開催（委託料）2,100千円 ・キャリア相談の実施（委託料）900千円 ・郊外型女性向けコワーキング施設の運営（委託料）2,800千円 ○女性リーダーの育成・ネットワークづくりの支援 ・セミナー及び交流会開催（委託料）2,800千円 ○市内企業の女性活躍の推進 ・企業向け課題解決型セミナー等の開催（委託料）500千円 ・女性活躍推進企業認定制度の運用（印刷費等）1,020千円 ○女性の理工系人材育成 ・体験プログラム実施経費（委託料）1,000千円 ○起業を志す/起業して間もない女性の育成・支援 ・実践型伴走支援プログラム実施経費（委託料）7,500千円  郊外型コワーキング施設の運営  理工チャレンジプログラム  女性リーダー育成支援		
KPI	①再就職又は非正規から正規雇用転換した女性の数(+245人) ②女性リーダー育成プログラムを受講した女性の数(+180人) ③女性活躍・多様な働き方の新たな取組みを行った企業の数(+650社) ④女性起業家育成プログラムを受講した女性の数(+80人)		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制、効果検証) https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/jikikihonkeikaku00/2025visionsuishin.html	

事業概要【イノベーション創出による地域経済活性化支援事業】

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	365,010千円 (134,310千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- 神戸経済全体の持続的な成長のために、海外、他都市における市場開拓、雇用機会の創出を目的として、スタートアップや市内企業の新規事業開発を支援する。 - イノベーション人材、高度デジタル人材の育成支援から、地域課題解決のための神戸市等のアセット、リソースを活用した実証支援、神戸市におけるオープンイノベーションの活性化により、地域一体で神戸市を「イノベーション創出の場」にすることを旨とする。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 神戸経済の持続的な成長に繋ぐため、イノベーション創出にかかる人材育成支援事業や、開発・実証に対する支援を行う。また、神戸市がイノベーション創出の場となるための仕組み構築のため、各支援機関との連携を進める。 【ソフト事業】 ○新事業開発支援：24,500千円 ○高度デジタル人材育成：46,000千円 ○東京圏からの人流還元：16,000千円 ○開発・実証支援： ・運営費（委託）・・・3,000千円 ・開発支援（補助金）・・・20,000千円（うち、施設整備・事業設備・備品経費：8,000千円） ・実証支援（負担金）・・・15,000千円 ○海外支援機関等との連携促進：9,810千円						
地域の多様な 主体の参画	・神戸市内の大学やインキュベーション施設、各支援機関と定期的に意見交換を実施し、事業における連携などを行う。 ・事業の参加者である民間企業やデジタル人材となりうる学生に対するヒアリングを実施することで、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新たな商品等の開発件数（プロトタイプ含む）（+15件） ②開発・実証実験件数（+51件） ③共創マッチング件数（+46件） ④セミナー、イベントの参加人数（+2,400人） ⑤スタートアップ設立数（+48社）

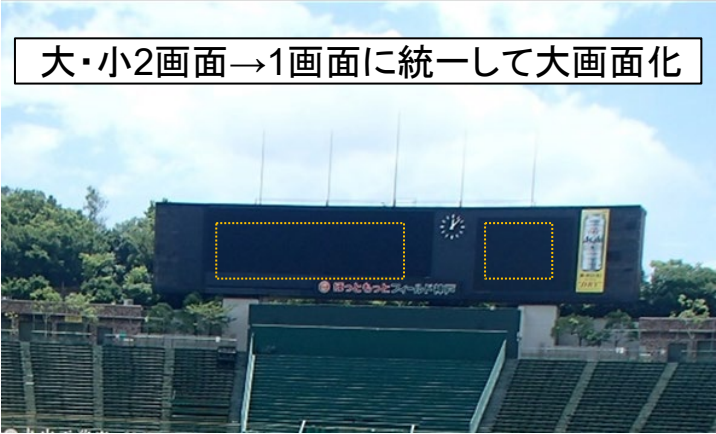
事業概要【神戸市立青少年科学館大規模リニューアル】

申請者	兵庫県神戸市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	332,808千円 (332,808千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	- 科学館の機能を強化することで、気軽に科学体験を通して学び、科学にふれ合える施設として活用することで、ポートアイランドの賑わい創出に寄与することを目指す。 - 地元企業に回帰する理系人材育成の育成を図る。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 青少年科学館において、既存の展示室のうち2室のリニューアルを実施する。1室は市内企業の技術を紹介する展示を企業の負担で作成して展示する。もう1室には複数の実験室と工作室を設置し、企業技術の展示室と連動する形でイベントやワークショップを開催するなどして、賑わいの創出と理科人材の育成を図る 【拠点整備事業経費】 ・建築物本体工事 68,640千円 ・建築物と不可分な設備工事 69,468千円 ・展示室内装設備整備工事 76,010千円 ・その他工事 90,420千円 ・効果促進事業（ソフト事業） 28,270千円							
地域の多様な 主体の参画	出展に参画する企業から、企業が求める理系人材や、企業からみた展示解説等についての提案を受けたり、来館者のニーズに合わせたワークショップや講演会を実施したりすることで、事業内容に参画する。 市内の大学と連携し、学生から、科学館に対するイメージ等の意識調査、実施する教育普及活動、各種イベントへの意見の聴取および参画および科学館の情報提供を行う。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光動向調査で「ポートアイランド周辺」を立ち寄り先と回答した観光客の割合（+0.8%） ②教育普及活動参加者数（+600人） ③施設来館者数（+80,000人） ④来館者満足度（+8%）

事業概要【神戸市ものづくり工場機能拡充事業（企業交流スペース・スタートアップ入居スペースの整備）】

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	78,540千円 (78,540千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	神戸市ものづくり工場に、企業交流スペース及びスタートアップ入居スペース、商談スペースを整備することで、自ら交流のきっかけや場を作ることが得意でない市内中小企業に対して、スタートアップを含む市内外の企業との連携する場を提供し、新たなイノベーション創出に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業の概要】 本事業の対象施設である「神戸市ものづくり工場」は、阪神・淡路大震災で被災した製造業の復興を目的に平成10年に建設された日本最大級の賃貸工場であり、現在では被災企業に限らず、様々な業種の企業約100社が入居している。同工場に、「企業交流スペース」「スタートアップ入居スペース」「商談スペース」を整備することで、スタートアップを含む市内外の企業との連携する場を提供し、新たなイノベーション創出に繋げる。 【建築物本体工事】62,160千円 (うち、交付対象事業経費 62,160千円) ・共通仮設工事 10,155,200円 (うち、交付対象事業経費 10,155,200円) ※9,232,000円(税抜) ・パーティション工事 17,807,900円 (うち、交付対象事業経費 17,807,900円) ※16,189,000円(税抜) ・内装工事 34,198,957円 (うち、交付対象事業経費 34,198,957円) ※31,089,961円(税抜) 【建築物と不可分な設備工事】16,380千円 (うち、交付対象事業経費 16,380千円) ・電気設備工事 10,340,000円 (うち、交付対象事業経費 10,340,000円) ※9,400,000円(税抜) ・Wi-Fi整備工事 6,040,540円 (うち、交付対象事業経費 6,040,540円) ※5,491,400円(税抜) 【合計】 78,540千円 (うち、交付対象事業経費 78,540千円)						
地域の多様な 主体の参画	入居企業の交流イベントを開催し、新たなスタートアップが市内製造業にニーズを提供することで、イノベーション創出を促進する。支援機関は、定期的な会合で入居企業のシーズや課題を把握し、企業同士の連携を促進するコーディネーターとして活動する。加えて、神戸高専発スタートアップ企業の受け皿となるとともに、高専の地域共創テクノセンターが入居企業の生産課題を吸い上げ、技術相談やアカデミアへの還元を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+100人） ②神戸市ものづくり工場への新規入居者数（+20社） ③神戸市ものづくり工場への新規スタートアップ入居者数（+12社） ④企業交流イベント開催数（+48件）

事業概要【神戸総合運動公園野球場リニューアル整備事業】

申請者	兵庫県神戸市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	535,000千円 (35,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・神戸総合運動公園野球場の大型映像装置を大画面表示にリニューアルして、表示内容の充実を図る。これにより、観客の観戦環境や利用環境の更なる向上を図り、球場管理者等と協力して大規模な試合等の開催数や球場利用者の増加を目指す。その効果として、周辺地域全体の地域経済のほかスポーツ振興の活性化に寄与する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 大型映像装置の制御システムを更新するとともに、大・小2画面を1画面に統一して大画面表示が可能なスクリーンへ更新し、観客にとって見やすく臨場感のある映像を見ることができるようにする。 【拠点整備事業経費】 R7年度事業費35,000千円 ・制御システム更新（工事）30,700千円 ・スクリーンの大型化更新（設計）4,300千円							
地域の多様な 主体の参画	球場管理者や球場利用主体者に、観客の観戦環境や利用環境の向上に資する施設の改修計画について意見を提案してもらい、改修内容に反映させる。 球場が設置されている公園の指定管理者に、事業の進捗について情報提供を行い、球場周辺の園地利用との連携を図るとともに、来園者の増加につながるよう取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	①プロ野球の開催による経済効果（+180百万円） ②野球場利用者人数（+5,000人） ③関西広域及び県大会規模の大会やプロスポーツ試合の誘致件数（+1件）

事業概要【王子公園エリア創生事業】

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,621,348千円 (70,049千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	まちづくり分野
目的・効果	・緑豊かで市民の憩いやスポーツ、子供たちの学びや成長の場となり、災害時には広域防災拠点として、まちの魅力や安全・安心に寄与する公園にリノベーションすることにより、時代の変化に対応した更新及び新たな価値の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 動物園のエントランス空間および一体となった王子公園のエントランス空間～滞留・交流空間の創出を行う。また、これらの公園整備に伴い必要となるインフラ整備や園地園路整備を実施する。 【ソフト事業経費】 ○戦略的プロモーション活動 ・事業費：10,000千円 【拠点整備事業経費】 ○王子公園エントランス整備 ・事業費：36,190千円 【インフラ整備事業経費】 ○王子公園インフラ整備および園地・園路整備 ・事業費 23,859千円					王子公園エリア創生事業 王子公園エリア創生事業 スポーツゾーン整備 王子動物園リニューアル 大学事業 エリア創生事業 王子公園エントランス整備 連携 ソフト事業 拠点整備事業 インフラ整備事業 都市構造再編集中支援事業 交付対象事業	
地域の多様な 主体の参画	民間事業者や市の外郭団体等と連携し、既存施設の管理運営ノウハウを基に整備内容への反映に取り組むほか、利用者増加等につながる施策を促進する。また、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。あわせて隣接地に整備する大学とも連携し、地域活性化に資する取り組みを検討・実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若年層人口（+1,100人） ②公園利用者人数（+300千人／年） ③王子公園駅乗降客数（+650人／日）

事業概要【神戸高専地域共創テクノセンター整備事業】

申請者	兵庫県神戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	779,192千円 (309,664千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	企業への技術支援、企業と学生の交流機会の提供、新たなイノベーション創出により、地元ものづくり企業の技術力・競争力の強化と、高度人材の地元定着の促進、スタートアップの創出を図り、地元経済の活性化に寄与する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 神戸市立工業高等専門学校内に以下の主要3事業を展開するための拠点施設を整備する。(令和8年度末完成予定) ①企業への技術支援 ・研究シーズと企業ニーズのマッチング、技術相談や共同研究等の窓口業務、リスキリング・講習会等の実施 等 ②交流機会の提供 ・学生向け企業説明会の実施、学生への企業情報提供、企業と連携した小中学生への理科教育 等 ③イノベーションの創出 ・企業との共同教育、スタートアップ支援 等 【拠点整備事業経費】 ○神戸高専地域共創テクノセンターの整備 ・施設整備等経費 294,713千円 ・設備整備・用地造成 14,951千円						
地域の多様な 主体の参画	テクノセンターを応援する企業協力会「神戸高専TECH共創会」を令和9年度に設立し、地元企業と神戸高専との産学連携活動の充実に取り組む。 神戸市機械金属工業会やTECH共創会、神戸市、金融機関等が参画し、年10回程度開催する産金官学連携会議において、KPIの計測値等を示し、各主体の意見を聴きながら、実施事業の進捗確認・効果検証を行う。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（起業者数を含む）（+230人） ②神戸高専卒業生の市内就職人数（第2新卒を含む）（+56人） ③地元企業との共同研究および技術相談件数（+11件） ④TECH共創会の会員企業数（+500社） ⑤企業参加行事の年間開催日数（190日）

事業概要【ウィズコロナ時代のニューノーマルな雇用促進パッケージプラン】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	145,396千円（27,847千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 多くの若者が地元に戻り就職し、その生涯を安心して暮らしていく。 - 地方でセカンドキャリアを考えている人々も、終の住み家を選び、地域経済の担い手となり更にその魅力を向上させる。 - その魅力に共感を得ることで、次の担い手がまた新たな魅力を生み出す、そういった発展的なスパイラルが育っていく街を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」の運営や改修 ・運営等に係る負担金（負担金）1,853千円 ○インターンシップ等マッチングイベントをリアルとオンラインでの実施、イベントと連携して県外学生等を対象とした魅力発見ツアーの実施 ・インターンシップ等イベント開催経費（委託料）17,766千円 ○既卒者の中でも、出産や育児等で離職した者や就労経験のない女性を主な対象に、キャリア形成等に関する研修の実施、オンラインでの企業見学ツアー、合同企業面談会等の開催 ・研修等開催経費（委託料）8,228千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用パッケージプランによる就職内定者プラス起業者累計数（+155人） ②20～39歳の転出超過者数（▲320人） ③JOB播磨掲載企業数（+920社） ④AI面接導入企業数（+25社）	地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」  関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000030790.html （効果検証） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html

事業概要【東京の大学生と連携中枢都市の大学、高校生による都市のイメージアップと地場産品の販路拡大】

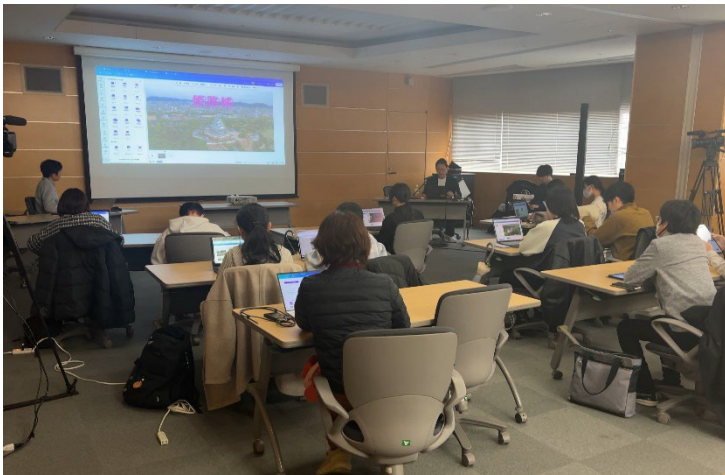
旧制度（推進）

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	178,000千円（30,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・都市のイメージアップに取り組み、姫路・播磨の地場産品の認知度向上を図る ・国内外での地場産品のプロモーションや、地場産事業者のECサイト参画を促し、地場産品の販路拡大を図る ・産業、観光、教育、人口政策を含有する政策間連携により、UJIターンを促し人口の社会増減の増加に寄与する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○産官学金で構成するコンソウシアムによる評価並びに年度計事業の検討 ・コンソウシアム開催経費（委託料）2,000千円 ○海外での商談会出展や海外向けオンラインでの地場産品の販売促進 ・商談会出展経費等（委託料・旅費・役務費・使用料）12,000千円 ○国内での商談会出展や地場産品のPR ・商談会出展経費等（委託料）6,000千円 ○メディア（映像や雑誌）を活用した地場産品のPR（国内外向け） ・PR経費（委託料）2,000千円 ○姫路在住の世界的ソムリエによる裾野拡大事業等の実施 ・事業実施経費（委託料）1,000千円 ○ECサイト等への参画の支援や百貨店等とコラボした販売の実施 ・参画支援等の実施経費（委託料）2,000千円 ○大阪・関西万博において播磨の地場産品や観光プロモーション事業の実施 ・プロモーション事業経費（委託料）5,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①姫路の大学生の「姫路」、「播磨」の地場産品に係る認知度向上割合（+20%） ②プロモーション、商談会による契約成立件数（年度末現在での商談進行中も含む）（+45件） ③ECサイトへの新規参画者数（+90者） ④20代、30代の転出超過数（▲250人）		
		関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000030790.html （効果検証） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html



事業概要【「SDGs×グリーン」グローバル人材育成事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県姫路市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	128,859千円（27,436千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・ライフスタイル・ビジネススタイルの変革を促す「グリーン」の観点を取り入れたグローバル人材を育成する ・SDGsマインドを持つ若者が、姫路地域で活躍しつつ、海外と本国をつなぐ「架け橋」となっている姿を目指す ・SDGsに関して市民、学校、企業が連携を図りながらSDGsに関心を持つ事業の展開を図る ・宣言制度やセミナー、イベント開催などで、SDGsに取り組む企業の見える化を図る		
事業概要・ 主な経費	○【総合的取組】若者をターゲットにグリーン化を取り入れたSDGsに関する普及啓発 ・SDGs啓発にかかるPR及び各種イベントへの出展（委託料）3,950千円 ○【経済】商工会議所等との連携によるSDGsに取り組む企業の見える化と農産物のブランド化 ・市内事業者向けセミナーの開催及びSDGs宣言制度の推進（需用費、委託料）1,300千円 ○【社会】「グリーン」をテーマに若い世代が活躍するイベント・意見交換会等の実施 ・若者ネットワークの構築（報償費、旅費、委託料）7,000千円 ・こども向けSDGs啓発イベント（委託料）1,000千円 ○【環境】SDGsに関心を持つ事業の実施 ・ゼロカーボンシティの啓発（委託料）4,000千円		 グローバル人材育成プログラム講習の様子
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①15歳から29歳までの転入超過数（+500人） ②従業者数（+0人） ③姫路市SDGs宣言参加事業所数（+220社）		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000030790.html （効果検証） https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000006344.html

事業概要【ふるさとプロモーション推進事業】

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	157,608千円 (60,766千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域に対する誇りや愛着の高い住民が、姫路市の魅力等を拡散し、その拡散によって新たな担い手が生まれるというサイクルを創出する ・住民が自発的に地域の魅力を発信することにより、特に若い世代に対して本市の魅力を伝え、転出を抑制する ・市外在住者に対し、姫路市に住むメリット等についてPRすることで、転入を促進する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 まちづくりの担い手をSNS等で紹介する事業と、地域の魅力を発信する人材育成事業を組み合わせ、姫路市のライフスタイルについて、住民が自ら発信したくなる仕掛けを施す。また、市内外でブランドメッセージ等を浸透させるため、SNS等のデジタル媒体を活用して、強力なPRを実施する。 【ソフト事業経費】 ○地域推奨意欲向上事業 ・まちづくりの担い手見える化及びつながる事業経費（委託料）13,500千円 ・地域の魅力発信人材育成事業等（委託料）6,000千円 ○移住に関する情報提供環境の整備 ・移住相談ワンストップ窓口（オンライン移住相談含む）の運営経費（委託料）3,900千円 ・移住支援等の内容を掲載したチラシの印刷などPR経費及び調査経費等（需用費、委託料、使用料及び賃借料）6,310千円 ○デジタルを活用したプロモーションの実施 ・移住支援情報等に関する広告掲出経費等（委託料、役務費）31,056千円					 多様なまちづくりの担い手	
地域の多様な 主体の参画	市立小学校からは、小学生の地域に対する誇りや愛着醸成の観点から小学校で可能な取組方法に関する情報、地域おこし協力隊からは、移住者としての観点からの情報、まちづくりの担い手等からは、地域に対する誇りや愛着醸成の観点からの情報を提供してもらうことで、多様な主体の意見をもとに事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①姫路市へのU I Jターン数（+400人） ②移住相談数（+450人） ③姫路市移住定住促進サイト「いいね姫路」の閲覧数（+25,000回）

事業概要【ひめじグローバル人材育成・確保促進プラン】

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	98,885千円 (42,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・若者の市内移住・定住を促進するとともに、グローバルな視点を備えた国際人材を地域で育成・確保し、地域の「稼ぐ力」の向上を図る。 ・外国人留学生在が日本での教育を通して高度外国人材に成長し、地域に定着して、ともに地域づくりに取り組んでいくことで、地域における多文化共生社会の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 外国人留学生を含め、市内の若者が地元（姫路）に定着して地域経済を支えるとともに、日本人市民と在住外国人が対等な関係を築き、多文化共生社会を実現できるよう、高校生の段階から国際理解の深化やコミュニケーション能力の向上、地域との交流や地元企業のインターンシップへの参加などを通して、地域で就業・定住するグローバル人材を育成する取組を官民協働により一体的に推進し、地域創生の持続可能な好循環を生み出す。 【ソフト事業経費】 ○グローバル人材を育成するコンソーシアムの構築・活動支援 ・コンソーシアム運営に要する経費（委託料）6,200千円 ○グローバル人材育成事業 (1) 地域経済を担う高度人材の育成 ・国際理解講座、留学生との交流会、留学経験者講演会、海外学校とのWEB交流イベントの開催（委託料）4,700千円 (2) 地域の稼ぐ力を高める人材確保 ・外国人雇用に関するセミナー、合同企業説明会の開催等（委託料）15,685千円 (3) 多様な主体の協働による持続可能な地域づくり ・地域行事や国際交流イベントへの参加、地域の特産品への理解の増進等（委託料）3,600千円						
地域の多様な 主体の参画	産学官協働による「グローバル人材育成コンソーシアム」を組成し、それぞれの立場からの専門的な知見を活かしつつ、各団体と連携しながら事業を推進する。 ※2025.5現在 参画団体27（教育機関12、経済団体・企業等10、国際交流支援団体3、行政機関2）					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①姫路市へのUIターン数（+100人） ②コンソーシアム参画団体数（+12団体） ③市内日本人中高生と外国人留學生との交流会・研修会の開催回数（+6回） ④外国人留學生のうち高校卒業後に兵庫県内で進学・就職した人数（+3人）

事業概要【大阪・関西万博等を契機とするインバウンドを軸とした活力ある観光地域づくりの推進】

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	608,410千円 (189,830千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・大阪・関西万博を契機としたインバウンドの推進及び広域観光の推進により、本市の多様な魅力を国内外に向けて発信するとともに、観光関連事業者のインバウンド対応を促進することで、継続的なインバウンド観光客数及び観光消費額の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様な主体と連携したインバウンド観光の施策を展開し、本市の観光地としての魅力やブランド力、回遊性の向上を図ることで、観光客数及び観光消費額の増加につなげ、持続可能な観光地域づくりに取り組むとともに、播磨圏域における正確な調査を実施し、これに基づく効果的な施策を展開することで、播磨圏域の観光を盛り上げる。 【ソフト事業経費】 ○データ収集・分析等 ・人流・消費データ等の収集・分析（委託料）30,000千円 ○受入体制整備等事業 ・インバウンド受入体制整備等（補助金）2,000千円 ○ツアー造成、販売促進事業 ・着地型旅行商品の造成等（補助金）15,000千円 ○プロモーション事業 ・プロモーション事業経費等 （委託料、補助金、需用費、役務費、負担金）64,340千円 ○観光推進イベント ・事業運営等経費等（委託料）76,290千円 ○受入体制整備等事業 （需用費、委託料、工事請負費）2,200千円						
地域の多様な 主体の参画	観光事業者・市民等を巻き込み、多様な観光コンテンツの発掘、磨き上げ、プロモーションを行う。ポスターの掲出やウェブサイトでの情報提供、プロジェクトの効果を活用したプロモーション、商品提供の実施によるPRを官民業・文化財・アクティビティ・大学等）と官民連携して取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内総入込客数（+940,000人） ②市内観光消費額（+17,250百万円） ③市内宿泊者数（+68,000人） ④外国人観光客の姫路城入城者数(+45,000人） ⑤Visit Himejiホームページビュー（+26,000件）

事業概要【国際的なヴァイオリンコンペティションを軸とした文化・芸術の振興とまちの賑わいづくり】

申請者	兵庫県姫路市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	167,000千円 (58,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 国際的なコンペティションを開催することにより、市民のシビックプライドが醸成される - 高いレベルの演奏に触れる機会を数多く創出することにより、市民の文化度が高まる - 国内外から音楽関係者や愛好家のほか海外の富裕層が滞在することにより、大きな経済効果がもたらされる - 海外から多くの演奏家が集うことを通じて、文化芸術や国際の分野で人材の育成が図られる - 本市の国際的な認知度と都市としての価値が向上し、HIMEJIブランドが確立され、世界から選ばれるまちとなる						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 次代を担う人材育成の観点に加え、本市の若者たちに、文化芸術で将来の夢を描く契機とするとともに、世界に羽ばたく才能を発掘し発信していくことで、市民の文化度のさらなる向上やシビックプライドの醸成を図る。また、本市とヴァイオリンは深い縁を有しており、未来へしっかり引き継いでいくため、次代を担うヴァイオリニストを輩出することを目的とした「国際ヴァイオリンコンペティション」を新たに開催する。加えて、市民参加型の「新たな文化芸術事業」を開始し、市民が様々な文化芸術に触れる機会を増加させることで、文化芸術の振興を図り、本市全体で文化芸術を盛り上げていく。 【ソフト事業経費】 ○ヴァイオリンコンペティションの開催に向けた準備事業 ・準備事業経費（負担金）43,000千円 ○新たな文化芸術事業の開催 ・新たな文化芸術事業開催経費（委託料）15,000千円					 ヴァイオリンコンペティション（イメージ）	
地域の多様な 主体の参画	ヴァイオリンコンペティションの実施主体となる実行委員会に、商工会議所や地元新聞社の参画を得て、それぞれの立場からの意見を反映させることで、よりよいコンペティションの開催につなげる。 秋に開催する新たな文化芸術事業のPRに市内文化団体が協力するほか、事業に次代を担う若者の参加を促すことで、市民一体でつくる新しい形の開催につなげる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内総入込客数（+94万人） ②ヴァイオリンコンペティションの参加申込者数（+200人） ③ヴァイオリンコンペティションの公式WEBサイト閲覧数（+950,000回） ④新たな文化芸術事業の参加者と入場者数（+72,800人）

事業概要【スポーツを軸とした若者が集まる「楽しい姫路」の実現】

申請者	兵庫県姫路市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	143,400千円 (10,400千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・「ひめじスーパーアリーナ」の供用開始の好機を捉え、戦略的な誘致活動を行うことにより、若者を中心とした市内外の人々を惹きつける大規模イベントを実施する。 ・本市を拠点とするトップチーム4団体（女子バレーボール、女子サッカー、女子バスケットボール、野球）を主なメンバーとする「ホームタウン協議会（仮）」を立ち上げ、チーム相互の連携や周知等を図ることにより、一体的な取組を実施し、市内外の人々の認知度向上及びスポーツ選手のキャリア支援等を実施する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 「ひめじスーパーアリーナ」の供用開始の好機を捉え、戦略的な誘致活動を行うことにより、若者を中心とした市内外の人々を惹きつける大規模イベントを実施する。また、本市を拠点とするトップチーム4団体を主なメンバーとする「ホームタウン協議会（仮）」を立ち上げ、チーム相互の連携や周知等を図ることにより、一体的な取組を実施し、市内外の人々の認知度を向上させるとともに、プロスポーツ選手の支援等を実施する。 【ソフト事業経費】 ○トップチーム支援・連携の拡充事業 ・ホームタウン協議会の設立・運営（委託料）200千円 ・トップチーム支援・連携の拡充（委託料）2,000千円 ・大会誘致、事業運営費等（委託料）1,800千円 ○ひめじスーパーアリーナ完成記念事業に向けた準備事業 ・完成1年前イベントの実施（委託料等）1,400千円 ・完成記念イベントの誘致活動（委託料）5,000千円						【ひめじスーパーアリーナ】外観イメージ（手柄山J.R.新駅側から望む）	
地域の多様な 主体の参画	本市で魅力的なスポーツ大会やイベントを開催し、ファンやリピーター、関係人口を増加させるため、トップスポーツチームを主なメンバーとする「ホームタウン協議会（仮）」を設置し、協議内容をスポーツコミッション事業に反映する。また、各種競技団体、ひめじスーパーアリーナ指定管理者、姫路市まちづくり振興機構（本市外郭団体）及び兵庫県との連携を図るとともに、各種イベント参加者の意見も反映することで、より効果的な事業実施につなげていく。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（+17,250百万円） ②各種スポーツ行事への参加者数（+2,636人） ③市立体育施設の利用者数（+116,616人） ④市立体育施設における市内外から参加者がある大規模イベントの開催件数（+9件） ⑤本市を拠点とするトップチームのホームゲーム観戦者数（+4,103人）

事業概要【地域資源「明石のたからもの」を活用した魅力と賑わいの向上】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県明石市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	159,232千円（55,983千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 明石市の魅力や地域資源「明石のたからもの」の浸透により、関係人口等の増加と定住人口の維持・拡大を実現する。 - 国内最古のプラネトリウムを有する天文科学館がデジタル技術を取り入れ、アナログとデジタルの融合した展示や催しを実施することで、入館者数をコロナ禍前の水準とする。 - 明石を代表する水産物であるマダコについて、資源の保全や資源維持型漁業により資源量を回復させる。		
事業概要・ 主な経費	①地域資源「明石のたからもの」の情報発信 8,423千円 ・海のまち明石・魚のまち明石PR 2,100千円 ・時のまち明石・歴史のまち明石PR 1,110千円 ・移住定住の促進等PR 3,604千円 等 ②天文科学館の魅力向上 8,360千円 ・プラネトリウム用デジタル映像制作、特別イベント 4,800千円 ・全天周映像用プロジェクター機能強化 2,800千円 等 ③豊かで安全な海づくり 39,200千円 ・産卵用タコつぼや施肥の投入とモニタリング調査、タコの種苗量産技術開発支援、アマモ場の造成、漁礁の設置 19,500千円 ・水上バイク侵入防止フロート設置 11,500千円 ・大蔵海岸環境整備（ベビールーム新設等）7,000千円 ・大蔵海岸の魅力を発信するビーチイベントの実施 1,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+300,000人） ②天文科学館入館者数（+35,000人） ③マダコの漁獲量（+870 t）	関連URL	https://www.city.akashi.lg.jp/seisaku/seisaku_shitsu/akashitihousei.html

事業概要【誰も迷わない創業支援ワンストップ拠点の確立事業】

申請者	兵庫県西宮市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	48,500千円 (6,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	女性や若者、高齢者など幅広い層による起業を促進する環境を整備し、起業を志すところから開業・継続・発展に至るまで、新しいビジネスへの挑戦の各段階に応じた切れ目のないきめ細かな支援を図り、新たな産業の担い手の創出に繋げ、地域経済に活力と雇用をもたらす。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 これまでに実施してきた起業支援事業を踏まえて、ニーズの高いセミナーや取組みは継続しつつも、異なるセミナーなど事業の新陳代謝を図ることでブラッシュアップする。また、これまでの3年間でセンターを利用した者への伴走支援の継続、ビジネスアイデアコンテストに係る広報支援を行うことで本市における起業への関心を高めていく。 【ソフト事業経費】 ○各種創業セミナーの実施など、起業をワンストップで支援する拠点施設の整備 ・各種セミナー等開催経費（補助金）4,000千円 ○市内部の関連事業や商工会議所等の関係機関と連携し、起業家支援センターの利用促進、交流会やビジネスアイデアコンテストを実施 ・交流会等開催経費（補助金）1,000千円 ○複数の企業家による商品やサービスのPR機会を提供 ・合同記者発表会等（補助金）500千円 ○起業家支援センターの広報活動を実施 ・広報費（補助金）500千円						
地域の多様な 主体の参画	市内大学との連携により若者らの起業に対する意識改革や気運の醸成を図るとともに、金融機関と連携することで地域が抱える起業支援に係る課題を共有する。それらの取り組みを通じて、行政も含めた地域の多様な主体による創業支援施策を互いに提言し、幅広い層のニーズに応えるセンターの運営及びセミナー等の企画を行い、商工会議所主体の取り組みにつなげていく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①起業者数（+130人） ②コワーキングスペースの会員登録数（+30人） ③セミナー等の参加者数（+800人） ④3年後の事業継続割合（+70%）

事業概要【多様な人々が活躍する機会の創出事業】

申請者	兵庫県豊岡市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,145千円 (23,258千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「子育て支援」の強化、充実を図るとともに、子育て中の女性等が活躍できる機会を創出する。 ・誰もが自分の意思で生き方を選択できる持続可能なまちづくりを目指し、まち全体（職場、家庭、地域）のジェンダー平等推進を図る。 ・多様性（性別、年齢差、国籍の違い、障がいの有無、性的マイノリティなど）を認め合い、自分らしく暮らせる地域社会を築く。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 豊岡市は、若者回復率向上と出生率上昇による量的緩和策と、多様性を受け入れる質的転換策を組み合わせた地方創生戦略を展開し、女性や外国人との共生を最重要課題と位置づけ、下記の取り組みを実施する。 【ソフト事業経費】 ○子育てを応援する事業 371千円 ・キャリア相談、起業相談、セミナーなどの開催（需用費等） ○地域・家庭におけるジェンダー平等推進 8,941千円 ・アドバイザー招聘、会議、みらいチャレンジ塾（女性のエンパワーメント）、男性の座談会（ジェンダーに関する意見交換会）開催、ジェンダーギャップ解消戦略【後期】見直し・市民意識調査（報償費等） ○職場におけるジェンダー平等推進 5,995千円 ・階層別の働きかけ・セミナー等開催、従業員意識調査支援等（報償費等） ○外国人市民の参画機会を創出する事業 6,707千円 ・外国人市民の相談会・交流事業等開催、多言語化等によるコミュニケーション支援及び生活支援、ワークショップ、推進会議等開催、多文化共生推進プラン改訂・アンケート調査実施（報償費等） ○多様性推進のための検討委員会開催・研修開催等（報償費等）1,244千円					 多様性・ジェンダーをテーマにしたオリジナル絵本	
地域の多様な 主体の参画	市内事業所は若者・女性にとって働きがいと働きやすさを両立する職場環境への変革を推進。中間支援組織は地域と行政の潤滑油として課題解決に取り組み、大学は多文化共生研究と専門分野での事業参画を担う。政策金融公庫は融資制度連携を通じた支援を行い、地域おこし協力隊は得意分野で事業に参画。地域FMは情報提供機能を果たし、地域コミュニティ組織と検討委員会は住民意見の集約と必要情報の提供を実施し、官民学金連携による持続可能な地域活性化を実現する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①女性従業員の 2/3 以上が「働きやすくて働きがいがある」と評価している事業所数（+29社） ②地域コミュニティ組織における女性役員の割合（+28.3%） ③外国籍市民の5年定住率（+8.5%）

事業概要【世界に通用する豊岡のローカルを突き詰める事業】

申請者	兵庫県豊岡市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	326,847千円 (110,949千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・世界に通じる豊岡の価値（観光、豊岡鞆、文化芸術が身近にある暮らし）を磨き上げ、市内外への魅力発信を強化し、豊岡に暮らす価値や魅力を認める若者の増加とその定着、また、関係人口の増加を目指す。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 豊岡市は、「Local & Global City」を将来像に掲げ、観光、鞆産業、起業支援、文化芸術を柱に地域の価値を磨き上げ、市民との協働で魅力を発信し、若者の移住・定住促進を図るため下記の事業を実施する。 【ソフト事業経費】 ①世界に通じる豊岡の価値の磨き上げ ○観光産業（委託料、負担金等） 32,359千円 ・外国人観光客の誘客推進、来訪者の定量分析調査等 ・国内観光客の周遊促進、観光DXの推進による地域活性化等 ○鞆産業（補助金等） 5,696千円 ・鞆産業人材確保推進、2025大阪関西万博を契機とした海外展開 ○起業・創業（補助金・負担金等） 27,874千円 ・創業や事業承継の支援施策、芸術文化観光専門職大学との連携等 ○文化芸術が身近にある暮らし（負担金等） 34,552千円 ・芸術文化観光専門職大学との連携、豊岡演劇祭の開催等 ②「豊岡に暮らす価値と魅力」の発信強化 シティブロモーションによる魅力発信（報償費、広告料等） 10,468千円						  	
地域の多様な 主体の参画	DMOは観光マーケティングを活用し、市全体の周遊促進や受入環境の整備を推進。商工会・商工会議所は創業支援や事業承継に注力。兵庫県鞆工業組合は、魅力ある就労環境の創出と発信を担う。観光協会は6地域の特性を活かした戦略に基づき、地域の観光推進を展開。大学は専門的知見に基づく提言や演劇祭への参画を通じて貢献し、金融機関は資金調達支援や創業支援を実施。さらに、地域おこし協力隊・地域FM・住民が観光促進、情報発信、イベント運営等に参画し、官民学金の連携による持続可能な地域活性化を実現する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①人口社会減の緩和（+162人） ②豊岡に価値や魅力を感じる人の割合（+26.8%） ③観光消費額（インバウンド宿泊者）（+9.24億円） ④鞆製造品出荷額（+8億円） ⑤創業件数（+88件） ⑥豊岡演劇祭を契機とした地域への派生事業数（+30件）

事業概要

【SDGs未来都市にしわき 大阪・関西万博を契機としたSDGs産業・観光振興プロジェクト】

申請者	兵庫県西脇市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,487千円 (63,261千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・地域特性を生かし、ひょうごフィールドパビリオン構想と連携しながら、体験型コンテンツの整備やコト消費の活性化を図り、知名度・ブランド力の向上を図る中で、地場産業を中心としたモノ消費へとつなげる。 ・SDGsに取り組む事業者のプラットフォーム登録促進やSDGs経営の推進を支援し、経済、社会、環境が調和したビジネスの活性化を図るとともに、担い手育成を通じた持続可能な地域産業・社会の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 万博を契機に取り組むひょうごフィールドパビリオン構想と協調し、地場産業の新たな魅力を伝える産業観光や地域資源・人材を生かした文化観光等に取り組む。また、SDGsに取り組む事業者への支援や地域産業を支える人材、地域における次代の担い手の育成を図る。 【ソフト事業経費】 ○ひょうごフィールドパビリオン連携事業（地場産業を生かした産業観光） ・オープンファクトリー運営支援（補助金）1,500千円 ・播州織生地マルシェ開催（補助金）1,000千円 ○循環型・未来型農業推進事業（持続可能な農業の振興） ・地域産品プロモーションイベント開催（補助金）7,400千円 ・廃棄食材等を活用した6次産業化支援（補助金）3,025千円 【施設整備等事業経費】 ○ひょうごフィールドパビリオン連携事業（文化観光拠点施設の機能強化） ・岡之山美術館の機能強化（補助金）18,769千円					 播州織産地博覧会・オープンファクトリー	
地域の多様な 主体の参画	商工会議所や地場産業関連事業者を中心に、移住者や大学生などの参画も得ながら、産業観光の魅力向上を図るとともに、多様な主体で構成された実行委員会で検証・見直しを行う。また、地域の文化振興に深い知見と人的ネットワークを有する公益財団法人と連携することで、円滑な事業実施につなげる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域産品売上増加率（+10%） ②観光入込客数（+120千人） ③ひょうごフィールドパビリオン等参加事業者数（+15団体） ④SDGs推進パートナー数（+55団体） ⑤郷土美術家作品新規収蔵数（+8作品）

事業概要【飛び地自治体連携による成果連動型スポーツ健康まちづくり事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県西脇市ほか 3 自治体	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	866,158千円（187,469千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	住民が自発的に健康づくりに取り組めるよう行動変容を促すことで、地域で役割を持ちながら生涯現役で暮らすことができるまちの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 健幸ポイントプログラム（インセンティブ施策）、運動教室等のスポーツ健康まちづくり施策、健幸アンバサダー養成等のヘルスリテラシー向上施策をパッケージ化して実施することで、住民の健康寿命の延伸を目指す。 【主な経費】 ○健幸ポイント事業 ・中間支援業務（委託料） 17,160千円 ・ICT活用の健幸ポイントプログラムの運営 67,815千円 ・事業推進に係る委託費 11,282千円 ・消耗品・その他諸経費 15,033千円 ○4 市町連携スポーツ健康まちづくり ・運動教室運営 39,933千円 ・生涯スポーツ推進事業、スポーツ健康フェスタ開催 1,627千円 ○事業評価 ・医療費・介護給付費抑制効果の検証ほか 24,750千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①健康寿命の延伸／医療費・介護給付費の抑制額（+647百万円） ②健幸ポイントプログラムの参加者数（+11,500人） ③80・90歳代の健幸ポイントプログラムの参加者数（+1,720人） ④事業を通じた市民の健康投資（+5,100万円）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/shichoukoushitsu/senryaku/chihousousei/28193.html

※兵庫県西脇市、福井県大野市、京都府南丹市、岩手県金ケ崎町の広域連携事業

事業概要【住みたい、住み続けたいまち創出プロジェクト～わたしの舞台はたからづか～事業】

申請者	兵庫県宝塚市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,784千円 (7,504千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・包括連携協定先が一堂に会する「宝塚大会議」をはじめ、包括連携協定を締結している企業、大学とともに、市の課題や方策について話し合い、外部人材の助言を受けながら、子どもへの体験の機会創出、地域課題の解決に取り組む。 ・多様な主体によるまちづくりへの参画の促進、生み出した市の魅力など、若者やファミリー世代の住みたいまちとしての広報を戦略的に行い、市の魅力を市内外へ発信する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 包括連携協定先が一堂に会する「宝塚大会議」をはじめ、包括連携協定を締結している企業、大学とともに、市の課題や方策について話し合い、アドバイザーの助言を受けながら、子どもへの体験の機会創出、地域課題の解決に取り組む。 多様な主体によるまちづくりへの参画の促進、生み出した市の魅力など、若者やファミリー世代の住みたいまちとしての広報を戦略的に行い、市の魅力を市内外へ発信する。 【ソフト事業経費】 ○包括連携推進事業 ・包括連携推進事業 2,000千円 ・アドバイザー報酬 1,984千円 ○広報支援業務事業 ・広報支援業務事業 3,520千円						
地域の多様な 主体の参画	事業を実施するにあたっての人件費等については、基本的に企業、大学などが負担している。会場使用料、周知費用等の必要最低限必要な経費について、交付金を活用するが、交付期間終了後には、必要に応じて市が負担しながら、企業、大学、関係者等での自立した取組となるよう促していく。産官学金、住民全般がそれぞれ参画し、チームで地域課題の解決に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①包括連携協定を締結している企業・大学との連携取組実績の総数（+6取組） ②包括連携協定法人数（+3者） ③20代の転出超過人数（-300人） ④30代の転入超過人数（+75人）

事業概要【住宅団地再生事業 青山7丁目団地再耕プロジェクト交流拠点整備】

旧制度（拠点）

申請者	兵庫県三木市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,000,000千円 (863,500千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	高度経済成長期に開発が進んだ緑が丘・青山地区郊外型戸建住宅団地のまちびらきから50年が経過し、「人口減少・高齢化・空き家」等の課題が顕著になっている。そのため、ライフステージに応じた住み続けられるまちづくりに向けた団地再生事業として、公民連携によりそれぞれの強みを生かした役割分担の中で、100年先も住み続けたいまちの魅力につながる拠点を整備するとともに、住み替える仕組みを構築し、民間投資を促す戸建て住宅団地の再生を図る。		
整備内容・ 利活用方策	交流拠点において、新しい働き方(テレワーク等)や、多世代が交流、先端技術等を有する企業誘致に加え、デジタルとリアルをつなぐフィールドとして、地域課題解決型官民連携実証事業等、まちの魅力向上を図り、民間企業の投資を促す。拠点から地域の課題解決にむけた市内事業者×市外事業者による新たな稼ぐ力の創出を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 892,910千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 119,130千円、機械設備工事費 155,980千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【駐車場整備費等外構費】 273,295千円【自然エネルギー・機器導入費】58,685千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①緑が丘・青山エリアにおける人口(+200人) ②新たな課題解決型サービスに係る公民連携事業実施数(+33件) ③テナント利用率(+100%)		 地域コミュニティのアップデートや働く場や賑わいの創造に合わせた域内外から移り住む仕組み戸建住宅団地の再耕による持続可能なまちづくりにチャレンジする。
	関連URL	https://www.city.miki.lg.jp/site/renkei/29999.html	

事業概要【地域資源を活かした、Z世代が活躍できるワークプレイスの創出】

申請者	兵庫県三木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	42,770千円 (7,090千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 三木市の歴史や自然を生かしながら、新たな時代を切り開く仕事を創り、安心して働くことができる「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 - 多様な価値観を持つ若者から選ばれるまちとなるような事業を行うことで、中小企業や地域産業の人材確保、新たな雇用の増加につながり、三木市で暮らすことの魅力の向上、人口流出を防ぐという好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 働きやすい職場環境の整備や、人材確保の支援、新規就農者の支援を実施し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 【主な経費】 ○中小企業職場環境改善支援事業補助金 ・生産性向上や魅力のある働きやすい職場環境へ改善するのに要する経費の一部を補助 3,000千円 ○中小企業若手人材確保支援事業（補助金） ・働き手不足の解消、市内の雇用先を若者等に幅広くPRするため、就職情報サイトへ求人を掲載した事業者へ補助 500千円 ○新規就農者等確保育成支援事業 ・三木市で就農が可能であることを認識してもらうために、新規就農者の市内体験ツアーの実施や、営農組合組織での農業体験を実施 590千円 ○新規就農者就農環境支援事業 ・新規就農者として自走できるように販路の拡大等の支援や、農業の担い手同士をつなぎ農村地域の活性化を目的とする人材を確保 3,000千円					 	
地域の多様な 主体の参画	商工会議所と連携し、市内の中小企業の人材確保のために合同就職説明会等を実施し、その場で得た若者・女性等の就活で求めているニーズ等を把握し、本事業へ反映する。 また、三木市版地域おこし協力隊から市内の新規就農者が抱える課題やニーズを把握し、情報提供を行うなど実施する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①若者世代(20・30歳代)の社会増減率 (+0.92%) ②事業継承計画の策定件数 (+2件) ③認定農業者経営体数 (+12経営体)

事業概要【大阪・関西万博を契機とした、金物インバウンド戦略】

申請者	兵庫県三木市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,093千円 (13,093千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 三木市と何らかの関わりを持つ関係人口を増やし三木ファンを増やすことによって、地域の活性化を促し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 - 三木市の地域資源である金物を活かし、大阪・関西万博に合わせて、様々なイベントへの出展等によるPRにより、三木市が持つ金物ブランド力を磨き上げるとともに、インバウンドによる関係人口の増加につなげる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 大阪・関西万博等で三木金物ブランドのPRや、インバウンド獲得に向けた事業を実施し、「誇りを持って暮らせるまち」をめざす。 【主な経費】 ○大阪・関西万博関連事業 - 内閣官房万博国際交流プログラムを通じて交流を深めているフランスでの三木金物のPRや、インバウンドツアーを実施 293千円 ○三木金物ブランド戦略事業 - 三木金物ブランドの魅力をPRするために、国内・国外で実施される見本市へ参加するための費用 8,000千円 ○観光情報雑誌作製事業 - インバウンドによる観光客の誘客につなげるため、市内の飲食店などを観光PRの専門家等の視点で観光内容に特化した雑誌を作製 3,800千円 ○道の駅よかわインバウンド整備事業 - Wifi、電子マネー等の受入体制強化、ホームページでの観光情報発信や、地場産業体験イベント等を実施 1,000千円						
地域の多様な 主体の参画	三木金物商工協同組合連合会と協力し、三木金物業界の現状や課題と併せて、産業見本市等における海外に金物に対する反応やニーズを把握する。 三木市版地域おこし協力隊から、道の駅よかわに来訪する外国人が求める金物製品や体験ツーリズム等を把握し本事業へ還元する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①金物製品輸出額 (+9.6億円) ②個人旅行を含む三木市での外国人宿泊人数 (+2,800人) ③インバウンドへの参画事業者数 (+6社)

事業概要【自分に合った働き方が見つかる「女性・若者・障がい者が働き輝く川西」推進事業】

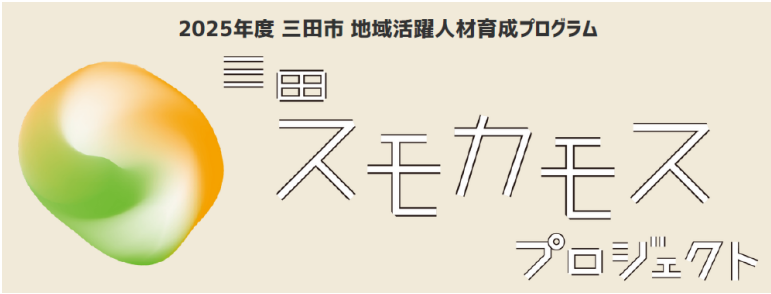
申請者	兵庫県川西市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,613千円 (11,871千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	・新たなしごとを創出する起業家や事業者による事業展開を促し、地域課題の解決や活性化に向けた取組を行い、市民が自分らしいスタイルで働き、暮らし続けたいと思うまちづくりを進める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市民が住み慣れた地域で「自分に合った働き方」を実現できるよう、多様な主体と連携しながら支援する。 【ソフト事業経費】 本市の、住宅都市としての住み心地の良さを活かした柔軟なワークモデルを確立し、革新技术やサービスによる地域経済の活性化と新たな雇用創出を促すほか、伴走的な支援を通じて就労継続に繋げる。また、現役就農者から指導を受けられる環境整備を進める等、新規就農者を支援する。 ○起業支援 ・起業支援セミナー、出店補助等 7,184千円 ・社会起業家への支援(ガバメントクラウドファンディング型) 1,796千円 ○就労支援 ・若者を対象とし地元企業の職場体験等 302千円 ・女性向け就労支援セミナー等 766千円 ・障がい者の継続雇用に向けた支援(補助金) 900千円 ○商工振興支援 ・商業者団体が実施する集客イベントの支援(補助金) 200千円 ○就農支援 ・体験農業、直売支援等 323千円 ・農福連携に関する農業者団体支援(補助金) 400千円						
地域の多様な 主体の参画	地元企業や兵庫県労働局等と連携しながら、起業・就労・就農を希望する市民等に対しバックアップを行う。特に大学生や高校生には地元企業によるインターンシップの実施等、働くことについての不安や疑問を解消するとともに、地元企業の魅力を伝える好機とする。これらの多様な主体の参画により、市民が自分に合った働き方を見つけ、市内での起業・就労・就農が叶うよう、相談や就職先としての受け皿となる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内総生産額 (+13,603百万円) ②起業セミナー受講者の起業家数 (+10人) ③自分の仕事に充実感がある市民の割合 (+0.5%) ④農業産出額 (±0千円)

事業概要【北部まちづくり事業】

申請者	兵庫県川西市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,364千円 (38,364千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	北部地域の中でも特に子育て支援需要の高い北消防署周辺にこども・若者への支援を中心とした機能を配置する。北部ワクワクこども支援棟を設け、全ての保護者の子育てを支援するとともに、「遊び」を通じてこどもの成長を育み、多様な学びの場を提供するなど、こども・若者の貴重な「居場所」となれるよう、支援の拠点として整備する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・地域子育て支援：プレイルーム、屋外プレイスペース開放のほか、子育て相談や子育て講座等を実施（就学前のこどもと保護者） ・小・中学生の居場所：小・中学生の社会的自立に向けた支援を実施 ・地域の活動スペース：こども食堂など、既に実施されている地域の自主的な活動と本事業で新たに配置される機能を連携させる 【施設機能】※下線部が交付対象事業 ・小規模保育・こども誰でも通園・一時預かり・<u>地域子育て支援</u> ・障がい児相談支援・小・中学生の居場所づくり ・地域の活動スペース 【対象経費】 ・施設整備：園舎整備及び駐車場整備費用 124,500千円 ・関連備品：インターネット環境構築に係る費用 7,037千円					 敷地配置 整備前 整備後 2	
地域の多様な 主体の参画	こども食堂やトライやるウィークの受入などにより、地域住民の自主的な施設利用、子育て支援を実施していく。また、金融機関等によるセミナーを定期的に実施するなど、社会全体で子育て支援を実施する体制を整える。毎年実施する市民実感調査や随時実施のアンケート等で実態を把握し、事業内容の見直しをおこなう。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①子育てがしやすいと感じる割合（+18%） ②お互いに支え合っていると感じている人の割合（+3.0%） ③利用者向けセミナー等の年間実施回数（+4回） ④利用者向けセミナー等参加者の「満足」の割合（+94%）

事業概要【地域活躍人材育成プログラム「三田スモカモス・プロジェクト」】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県三田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	12,655千円（6,003千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・若い世代を対象に定住・Uターンの推進、関係人口の創出・拡大を図る ・学生等と地域のマッチング、地域課題に関わる仕掛け、特に地域の「ひと」とつながりを持つことのできる取り組みモデルの構築		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○大学生等を対象とした地域活躍人材育成プログラム（ワークショッププログラム）「スモカモス・プロジェクト」実施 ○伴走支援コーディネーター育成プログラムの実施 ・プログラム企画・開発・運営費用（委託料）6,003千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①未来を担う若者指数（15～19歳人口の10年後残存率）（+4%） ②地域での学生等若者のチャレンジによるプロジェクト数（+64件） ③プログラム参加者、卒業生、協力事業者をはじめとした、スモカモス・コミュニティ登録者数（+180人） ④若者のチャレンジの伴走支援が可能なコーディネーター認定者数（+24人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/3/gyomu/1/2/15285.html （効果検証） https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gyosei_hyoka/27667.html

事業概要【三田市千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県三田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,011千円（10,030千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	市北部に広がる農村地域は、里山等の地域資源が豊かであり、近年の地方回帰やアウトドアへの関心の高まりから、その利用者が堅調な実態がある。そこで、市北部にある里山等の自然を活かした種々様々なアウトドア活動を通じた賑わいにより新たな交流人口を創出して農村地域の活性化に資することで、本市への新たな人の流れを作ることに取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	(1)体験型プログラム等開催費 体験を通じて自然やSDGs等を学べるイベント等のほか、千丈寺湖畔への誘客を促進する観光プログラム等の開催に要する費用 需用費・委託料等 2,795千円 (2)ポータルサイト構築費 千丈寺湖畔の情報を発信するWEBサイト作成費 委託料 1,000千円 (3)千丈寺湖畔のプロモーション経費 SNSの活用や音楽フェスと連携して、千丈寺湖畔の魅力を発信していく経費 委託料等 5,005千円 (4)案内看板修繕費 委託料 1,230千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+310,000人） ②移住相談窓口件数（+1,000件） ③市民の居住意向として農村地域において市内に住み続けたいと答えるものの割合（+2.10%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.sanda.lg.jp/soshiki/17/gyomu/4/senjoyujiko/index.html （効果検証） https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gyosei_hyoka/index.html



事業概要【三田市起業・創業支援事業】

申請者	兵庫県三田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	16,004千円 (5,005千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・起業・創業を支援することにより、地域での創業件数を増加させ、魅力的な雇用の場を地域において創出する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 若年層や女性等も含め、多様な人材が市内の経済活動の一翼を担い、幅広く活躍できることを目的に、創業無関心層・創業関心層に対する「機運醸成事業」や、創業準備者や創業者に対する「特定創業支援等事業」を実施し、三田市における起業・創業者数の増加につなげる。 【ソフト事業経費】 ○起業・創業の機運醸成を図るためのプログラムを実施 ・高校生向け起業家教育（講師謝礼、広報啓発費）211千円 ・起業家育成プログラム（委託料等）1,148千円 ・お試し出店（委託料、広報啓発費）500千円 ○創業に向けての実践的なプログラムを実施 ・実践創業塾（補助金）459千円 ・創業希望者等への個別支援：（委託料）2,687千円						
地域の多様な 主体の参画	市内にある主体団体が連携し、各分野別に起業・創業を支援する。 【主な地域連携主体】 産・・・三田市商工会、兵庫六甲農業協同組合 官・・・三田市、兵庫県 学・・・関西学院大学、湊川短期大学、市内高等学校 金・・・市内金融機関					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援を行った者のうち創業した件数（+43件） ②特定創業支援等事業の参加者数（+180人） ③機運醸成事業の参加者数（+230人）

事業概要【空がつなぐヒト・コト・モノ交流推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県加西市ほか4自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	225,609千円（87,320千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会を中心に5市町連携により“ヒト・コト・モノの交流”を深め、平和学習、平和ツーリズムの推進を図る。ICT技術を活用した観光コンテンツの創出や歴史資料のデジタル化、ビッグデータ活用による来訪者増を図るとともに、各市の戦争遺産を活用した共同プロモーションを実施し、戦後80年や大阪・関西万博を機とした平和ツーリズムの推進と更なる認知度向上と集客を図り、まちの賑わいを生み出す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ヒトの交流】 ・平和普及推進事業 3,190千円 共同情報発信、パネル相互展示、ガイド養成 【コトの交流】 ・まちの賑わい・魅力創出事業 46,920千円 観光コンテンツ開発、ICT・データ活用 ・「戦後80年」・「大阪・関西万博」連携推進事業 18,210千円 シンポジウム・企画展開催、調査研究、資料収集 【モノの交流】 ・地域間経済循環促進事業 19,000千円 市町連携による新商品開発、ブランド化		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光ガイドによる平和関連施設案内者数（+10,136人） ②児童生徒の相互平和学習・交流による参加校数（+12校） ③ふるさと納税のうち農畜水産物返礼品に対する寄付金額（+30,000千円）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/3/41172.html (効果検証) https://www.city.kasai.hyogo.jp/soshiki/3/2650.html （加西市）

※兵庫県加西市・姫路市、熊本県錦町、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市の広域連携事業

事業概要【地域の未来をつなぐ若者応援事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県養父市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	8,024千円（4,352千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・「次世代につなぐ」「持続可能な養父市づくり」のできる人材を確保することに重点を置く。 ・養父市を誇りの思う郷土愛の醸成・若者の流失による担い手不足の解消を図る。 ・若者が地域企業の多様な職種やライフスタイル、価値観に触れる機会を創出し、地域定着・Uターン促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者が「ふるさと養父市」の地元愛着感を醸成する事業を実施する。 将来的に「ふるさと養父市」で就職やセカンドキャリア形成、起業就農などにより地域に定着し活躍する人材の育成につながる事業に重点を置く。 【主な経費】 ○市内各事業者の従業員等による「仕事・暮らし」を紹介し、高校生が今後の進路や就職等の職業観を考える機会（キャリアトーク）を創出する。 ・報償費：226千円・消耗品費：6千円 ○芸術文化観光専門職大学の講師等を招聘し、高校生に向けコミュニケーションスキルの大切さを知るワークショップを実施する。 ・3校合計8回実施分（委託料）：600千円 ○養父市が2Dメタバースプラットフォーム「ZEP」上に開設している「バーチャルやぶinZEP」を改修し、メタバース空間に来訪した人が移住・定住相談を受けられる仕組みを構築する。 ・ZEP改修費（NPCアバター、交流スペース等の設置）3,520千円		
KPI	①やぶ暮らし住宅支援奨励金を活用した移住人数（+50人） ②養父市のU・Iターン奨励金に申請してきた件数（+10件） ③将来、養父市に住みたい（戻りたい）学生の割合（+10%）	関連URL	調整中

※経費内訳はR7年度事業費



事業概要【都市部の大学サークルと指定棚田地域の連携事業】

申請者	兵庫県養父市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,960千円 (960千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・棚田地域振興法に基づく指定棚田地域の一つであり、当市の貴重な観光資源でもある「別宮の棚田」において、都市部の大学サークルと農業者が協働し、遊休農地の解消、生産した米の高付加価値化、地域の魅力の発信等に取り組み、当該地域が有する多面的機能の将来にわたる維持、農業者の確保を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 人材の確保等のため、2024年に養父市から呼びかけを行い設立した都市部の大学サークルの学生が、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に選定されている地区の別宮に定期的に出向き、水稻の作付けを実践する。 ・地域と協働で遊休農地1筆を作付け可能な状態にし、土づくりや施肥等に関する技術、ブランド化や情報発信等に関する知見を学び、自ら生産した米の収量増・高付加価値化、地域の魅力の発信等に取り組む。 こうした取組を通じて、農業の担い手を確保し地域や農業者の活力を高めるとともに、地域に魅力を感じ専業・兼業で農業を行う移住者に繋げ、荒廃農地が減少していくことを進める。 【ソフト事業経費】 ・大学サークルの活動に係る運営費（委託料）860千円 ・刈払機の使用に係る研修費（委託料）100千円						
地域の多様な 主体の参画	一般財団法人、大学サークル、地域住民及び市が共同で棚田保全及び遊休農地の解消に取り組み、別宮地区の将来にわたる維持、農業者の確保に取り組む。 また大学のイベントで収穫した米の販売を行い、地域の魅力発信や米の高付加価値化に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当該棚田における耕作面積（±0㎡、新たな遊休農地を発生させない） ②地域における新規就農者数（+1人）

事業概要【関宮地区小さな拠点整備事業】

申請者	兵庫県養父市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,351,240千円 (1,175,150千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・養父市関宮地域の核である関宮地域局や診療所が隣接する市有地に、多世代が交流できるコミュニティ施設や、高齢者等の一時滞在型宿泊施設、購買施設等の商業施設等を整備し、地域創生を実現する。 ・高齢者や子ども、若い世代など多世代が集まるための仕掛けを作り、交流人口・関係人口を増加させ、地域の活力の向上を図る。もって、子育て世代の定住人口の増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多世代交流を目的としたコミュニティ施設を中心に、売店やレストランなどの商業施設、薬局、デイサービスなどの医療・福祉施設、関宮地域の交通拠点となるバスターミナルを集約した「小さな拠点」を整備する。さらに、居住者密度が低く、一人暮らしの高齢者が多い関宮地区の課題に対応して、豪雪によって孤立する冬季などに、地域内2拠点生活を可能にする短期滞在型施設を複合的に整備する。 【拠点整備事業経費】 ○養父市関宮小さな拠点（仮称）整備 ・用地造成及び外構整備 105,000千円 ・施設整備（コミュニティ、商業及び福祉スペースを整備） 1,040,706千円 ・管理運営形態構築業務 29,444千円 - 合計 1,175,150千円						
地域の多様な 主体の参画	地域住民や医療福祉関係者、交通事業者等と分科会的に会議をしながら、基本計画や基本設計をまとめてきた。今後も医療福祉等の関係者はもとより、高齢者から児童生徒までを対象に地域住民と意見交換を行いながら、拠点での過ごし方や拠点の活性化について議論を進めていく。また、大学と共同でイベントを開催し、施設の運営事業者の選定に向けて事業を展開していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①養父市に住みたいと思う人の割合[地域の人口世帯数]（+85.5%） ②暮らしの中で異なる世代の人とのつながり・つきあいがある人の割合（+87%） ③若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合（+78%）

事業概要【「おかえり丹波」丹波市とつながる関係人口創出・移住促進事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県丹波市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	171,437千円（34,765千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・出生から高校生までの成長過程で、子どもたちの丹波市への愛着心を育み、大学等卒業後や就職を契機に丹波市に帰ってくる若い世代を増やす。 ・人口減少下でも、市外在住の方で丹波市と様々な形で関わりをもち、地域を支えてくれる人材として関係人口創出を図る。 ・歴史ある有機農業を活かした取組などを推進し、地域の農業を次世代に継承するとともに、移住・定住の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	○ハッピーバースデー応援事業 ・丹波市産の木材を活用した木のおもちゃ等を出産した世帯に贈呈。 商品開発に関わる大学生の活動を補助（補助金）540千円 ○関係人口創出事業 ・ポータルサイト運営（クラウドサービス使用料）660千円 ・ふるさと住民登録案内チラシ作成 74千円 ・ポータルサイト周知のインターネット広告（委託料）1,430千円 ・ふるさと住民ポイント付与業務（委託料）330千円 ○移住促進事業 ・オンライン移住相談窓口（使用料）1,616千円 ・移住促進イベント（負担金）628千円 ・フィールドワーク支援（負担金）5,507千円 ・農の学校運営事業（委託料）18,980千円 ・就農支援のための情報発信サイトの運営（委託料）5,000千円		
KPI	※経費内訳はR7年度事業費 ①相談窓口を利用して移住した年間人数のうち、40歳未満の人の割合（3ヶ年平均）（+12.7%） ②ふるさと住民の累計登録者数（+670人） ③丹波市に住みたいと感じる市民の割合（+3.6%）	関連URL	https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/sogosesakuka/gyomuannai/8/5/1417.html



事業概要【大阪・関西万博とその先を見据えた誘客促進事業】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県丹波市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	61,374千円（31,392千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・丹波市の魅力を広くPRし、市の認知度を向上させるとともに、多くの観光客を獲得し地域の賑わいを向上させる。 ・観光客が市内の観光地や地域商店を周遊することで、地域消費の活性化を図る。 ・地域経済が好循環し、裾野の広い観光分野の産業化・高所得化を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①誘客促進事業 ・誘客促進事業業務（委託料）23,210千円 ②周遊促進事業 ・市内周遊デジタルマップの運用（委託料）1,452千円 ・借上げバスによる市内周遊に補助金（補助金）4,500千円 ③魅力発信事業 ・観光アンバサダー活動業務（委託料）998千円 ・観光アンバサダー丹波市PRパンフレット（印刷製本費）1,232千円	 丹波の恵みを感じる・楽しむ	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①丹波市の観光消費額（+29.3億円） ②丹波市の年間観光入込客数（+24万人） ③デジタルマップ利用者数（+228千人） ④市内道の駅の合計レジ通過客数（+40千人）	関連URL	https://www.city.tamba.lg.jp/soshiki/so-gosesakuka/gyomuannai/8/5/1417.html

事業概要【道の駅うずしおを核とした地域活性化拠点整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	兵庫県南あわじ市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,000,000千円 (375,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	観光分野
目的（効果）	道の駅うずしおを再整備するとともに、完成後にはデジタル技術等を活用し、本市及び周辺地域の魅力を来訪者に伝えることにより、当該施設を拠点に本市の観光地等へ、更には淡路島内、徳島県鳴門市への周遊につなげる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	本市の魅力を発信できる施設として、道の駅をリニューアルすることにより、集客増を図り、売上向上につなげる。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 337,000千円 （内訳）・建築工事費 232,295千円 ・電気設備工事 44,219千円 ・機械設備工事 60,486千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 ・デジタルサイネージ整備 30,000千円 ・無線LAN（フリーWiFi）整備 2,000千円 ・AIカメラの整備 6,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①域内の宿泊者数の増加に伴う消費額の増加（+8,024,400千円） ②道の駅うずしおへの来訪者数（+170千人） ③道の駅うずしお売上額（+505,002千円）		関連URL (効果検証) https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/soshiki/furusato/dainiki-sousei.html

事業概要【空き家を活用した食の街区形成事業～世界一の食の島を目指して～】

申請者	兵庫県南あわじ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	23,400千円 (5,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・淡路島でしか体験できない文化・芸術レベルとなる「食」を提供する「世界一の食の島」の実現を目指し、先導モデルとして空き家が多数存在する地域に飲食店等を誘致して「食の街区」形成を行う。 ・多様な主体の参画を得て「食の街区」形成を議論することで、滞在時間の延伸、観光交流人口の増加により観光消費額を向上させ市内経済循環を促し、生産者・観光業従事者の所得向上を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多様な主体の参画による検討を行い、観光客に魅力的な「食」を提供する店舗の誘致等を図り、飲食店舗の不足を解消すると同時に「食」を求める観光客の増加を目指す。 【ソフト事業経費】 ○多様な主体の参画による検討委員会の開催 ・委員会開催（謝金、講師派遣手数料） 400千円 ○食の街区形成に向けた意識醸成 ・意識醸成イベントの開催（委託料） 3,400千円 ○食の街区形成に向けた域学連携 ・高等学校活動費（補助金） 1,000千円 ○食の街区形成に向けたインセンティブ ・起業支援補助金の嵩上げ 1,000千円						
地域の多様な 主体の参画	商工会、漁業協同組合、観光事業者、大学等の参画を得て「食の街区検討委員会」を組織し、飲食店等の誘致や集積による食の街区形成についての検討を行う。様々な主体が主体的に検討することにより、市民出資のまちづくり会社の設立を経て、将来的に交付金に頼らずに街区形成を推進することができる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+200億円） ②観光GDP（+137億円） ③地域における飲食店等の新規開店数（+4件） ④地域における宿泊者数（+404百人）

事業概要【（仮称）朝来市自然環境保護施設整備事業】

申請者	兵庫県朝来市						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	266,345千円 (266,345千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	・国特別天然記念物のオオサンショウウオを中心とした朝来市の自然環境の展示 ・オオサンショウウオの研究結果の展示 ・教育機関等への環境教育活動 上記の取組などにより、黒川地域を中心とした本市が有する豊かな自然環境を後世に守り残していくとともに、地域の魅力を高めることで、交流人口、関係人口の増、地域全体の活性化を図ることを目的に本事業を実施する。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 朝来市生野町黒川地域にある既存施設を改築し、国特別天然記念物のオオサンショウウオを中心とした自然環境の展示やオオサンショウウオの研究内容の展示を行う「（仮称）朝来市自然環境保護施設」を整備する。 【拠点整備事業経費】 建築物本体工事（改築）225,456千円 建築物本体工事（新築）31,749千円 備品購入 3,090千円 効果促進事業（ソフト事業）6,050千円						 ※イメージ	
地域の多様な 主体の参画	産官学金労言の各分野の専門機関及び地域住民等で構成する朝来市創生会議にて、取り組み内容を検証・評価し、次年度以降の事業推進に反映する。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①朝来市自然環境保護施設の入館者数（+8千人） ②黒川地域への来訪者数（+1万,800人） ③朝来市の観光入込客数（+75万人） ④地域・学校等での環境学習の開催回数（+71回）

事業概要【「となりリゾート。淡路市」を核とする地域周遊型観光コンテンツ造成プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	兵庫県淡路市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	201,392千円（68,354千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・魅力的な観光資源を掘り起こし、地域周遊型の観光コンテンツを造成する。 ・まち歩きの実進により、観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額の増加を図る。 ・2025大阪・関西万博を契機とする国内外からの誘客に対応するための基盤を構築し、さらなる観光振興を図る。 ・デジタル技術を活用した観光案内の拡充により、市内の観光人材の育成・向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○デジタルマップ導入によるデジタルスタンプラリー事業を実施 ・観光DXコンテンツ造成事業（委託料）16,335千円 ○最先端技術であるアバターを活用した観光案内所の拡充 ・アバターサービス費用（委託料）6,633千円 ○2025大阪・関西万博に向けた人流の多い交通拠点での観光プロモーションの実施 ・関西国際空港観光プロモーション（広告費）22,130千円 ○関西国際空港とタイアップした情報発信コンテンツ造成 ・2025大阪・関西万博を契機とする訪日外国人リピーター確保に向けたインバウンド向け動画制作（委託料）5,566千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①淡路市の観光消費額 （+6,707,280千円） ②岩屋観光案内所における電動アシスト自転車の年間利用者数 （+1,523人） ③淡路島内における淡路市の観光入込客数の割合 （+12%） ④淡路市公式Instagram「Iineawaji」のフォロワー数 （+2,202人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.awaji.lg.jp/soshiki/kankou/47257.html （効果検証） https://www.city.awaji.lg.jp/soshiki/kankou/47257.html

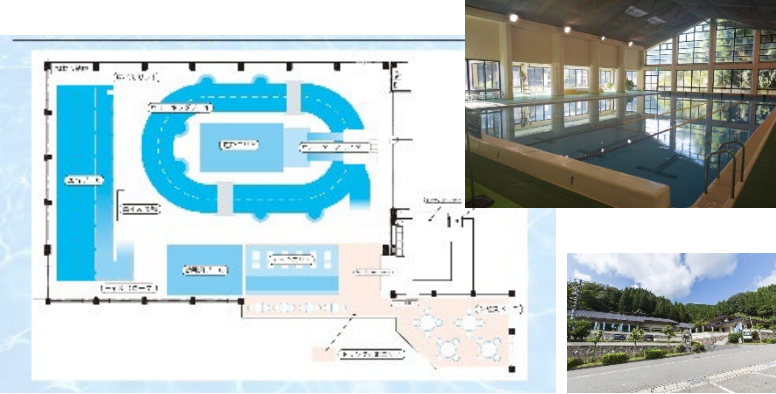
事業概要【持続可能な観光地域づくりと観光誘客事業の展開】

申請者	兵庫県たつの市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,720千円 (14,210千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	・観光振興計画の策定により、観光立市として目指すべき方向性を示すとともに、行政・観光協会、事業所、市民の位置付け、役割を明確化し、観光の発展を図る。（観光振興計画策定に向けた基礎データ収集のため、人流データの収集分析調査を実施する。） ・旅行や観光に強みを持つインフルエンサーによる、SNSでの情報発信や圏域内を巡る謎解き宝探しゲーム、フォトコンテストを実施することで多様な世代の観光誘客に努める。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本市への来訪者の人流調査を行い、属性の分析結果を観光振興計画の基礎データとして活用する。 旅行や観光に強みを持つインフルエンサーによるSNSでの情報発信や圏域内を巡る謎解き宝探しゲーム、フォトコンテストを実施し、観光誘客に努める。 【ソフト事業経費】 ・人流データ収集分析業務（委託料）3,800千円 ・PRチラシ、ポスターの作成（印刷製本費）810千円 ・周遊型観光イベントの実施（委託料）8,600千円 ・インフルエンサーの招聘（委託料）1,000千円						・インフルエンサーによる情報発信 (イメージ)
地域の多様な 主体の参画	道の駅の指定管理者にイベントの周知及び謎解き宝探しゲームのチェックポイントとして参画を求め、利用者の増加、観光消費額の増加に繋げる。 大学と連携することで、学生ならではの若い視点からの発想やアイデアを吸い上げるとともに、インフルエンサーによる効果的な情報発信、地域金融機関の強みである「情報をつなぐ」役割を活かした、事業を展開する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光入込客数（+45万人） ②圏域内観光地を周遊するイベント参加者（+9,000人） ③道の駅における観光消費額（+15,000千円）

事業概要【多可町文化会館・舞台の未来創造プロジェクト】

申請者	兵庫県多可町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	46,717千円 (46,717千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	兵庫県多可町は、豊かな自然と地域文化を持つ魅力的な町ですが、近年、若年層、特に20代女性の流出が深刻な問題となり、消滅可能性都市に分類されています。流出は出生数の減少にも影響し、地域の活力が低下しています。この状況を打破するため、文化会館を活用し、地域イベントや文化活動の質を向上させる施策を実施し、若者や子育て世代に魅力的な環境を提供し、定住促進を目指します。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 本事業では、多可町文化会館ベルディーホールの照明設備を全面的に強化します。最新のLED照明機器への交換によりエネルギー効率を向上させ、運営コストを削減します。また、照明制御システムを導入し、演出効果を高め、柔軟な対応が可能になります。接続器やケーブルの更新により安全性を向上させ、照明器具の更新で照度を回復させます。これにより、地域の文化活動が活性化し、文化活動を通じて、地域経済の活性化や住民の定住意欲向上、若者世代に選ばれる町を目指します。 【拠点整備事業経費】 ○文化会館の照明設備更新 ・照明設備 46,717千円						 ▲子ども演劇セミナー▲  ▲子ども芸能祭▲   ▲高品質な舞台演出を生み出す照明設備	
地域の多様な 主体の参画	【産】商工会長、商工会女性部代表、北はりま森林組合長【官】西脇公共職業安定所長【金】兵庫県信用組合支店長【言】神戸新聞社北播総局長【労】連合兵庫中南部地域協議会事務局次長【住民】住民団体（区長会、子育て世代代表）・・・検証委員会で、改善点、工夫点の提案・助言 【学】①兵庫県立大学環境人間学部教授・・・検証委員会座長、善点工夫点の統括・助言②町内各学校園・・・子どもたちへ文化芸術に触れる機会の提供及び子ども達の文化・芸術発表の場の提供 【住民】文化会館運営協議会協会・・・同館での公演やイベントについて協議調整。情報発信。チケット販売。来館者等アンケートを基に改善点を協議。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①20代の社会人口増減(-110人) ②出生数(+35人)

事業概要【リフレッシュパークゆむら再生地域活性化拠点整備事業】

申請者	兵庫県新温泉町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	987,558千円 (57,924千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	地域資源である温泉と健康の相乗効果を活かした観光産業の振興拠点として、リフレッシュパークゆむらをリニューアルすることで、地域外からの観光誘致、ワーケーションなど新たな湯治スタイル導入による滞在長期化、関係人口の拡大に伴う地域への波及効果として観光消費額の増加を図り、地域の経済活動の活性化や雇用の拡大、観光客・移住者の増加に繋がり経済の好循環を生み出す。また、温泉が持つ効果効能と多機能プールを活かして住民の運動習慣の定着化を目指し、幼少の頃から泳力と体力を養い、施設に親しむことで地域への愛着を生み、働く世代には運動の機会と癒しの場の提供により心身の健康を保つことで、より働きやすい地域となり、高齢者にとっても運動習慣の定着による健康寿命の延伸を図るよう、施設空間を整備することで地域活性化の拠点としての役割を強化し多世代にわたり定住を促す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 プール棟を改築し、観光レジャー、エクササイズ等多機能なプールへとリニューアルするとともに、軽飲食スペースや屋外デッキスペースなどの施設空間を地域活性化拠点として整備する。 【拠点整備事業経費】 ○リフレッシュパークゆむらのリニューアル ・リフレッシュパークゆむら改築整備設計（委託料）57,924千円						
地域の多様な 主体の参画	大学と共同で地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、商工会議所等、地域内での連携を促進する。 道の駅の指定管理者にイベントを開催してもらい、利用者の増加等につなげるとともに、自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+350百万円） ②域内の宿泊者数（+14,250人） ③リフレッシュパークゆむらの来館者数（+31,000人） ④リフレッシュパークゆむらの売上額（+24,000千円）